【超重要！】台所や洗面化粧台の排水口掃除には絶対に熱湯を流してはいけません。

　ご存知の通り、近年のお住まい宅の排水口の先は一般的には塩ビの配管で排水が流れる仕組みとなっています。
排水管の耐熱温度は”45℃”とメーカーが公表しています。
　温度表記は接着剤の耐熱温度で表記されていることが多く、料理やお茶で沸かした熱湯をそのまま排水口へ流すと接着剤が柔らかくなり
最悪接着剤が溶け排水管が熱湯をそのまま排水口へ流すと接着剤が柔らかくなり最悪接着剤が溶け排水管が抜け落ちる恐れが発生します。
また人造大理石調のシンクもヒビが入りやすくなる場合もあります。

　一軒家など一般的に１階に水廻りがあるお宅では、
『水を流すと床下で水が落ちる音が聞こえる』という場合、排水管抜けや配管の亀裂損傷が考えられます。
　幸い、他のお宅に迷惑がかかりませんが基礎下が気が付けばヘドロだらけの状態になっているお宅も見かけるケースがあります。

マンションやアパート、ハイツの2階以上にお住いのお宅、または2階に水廻りがある一軒家では、床下の音が聞きにくく、下階の部屋やお宅へ
漏水となり発覚するケースが多いです。
　また2階以上に水廻りがあるお住まい宅の床下はあまりスペースが取られていない場合が多く、下階室内やお宅の天井内で排水管漏れが発生し
お住まい宅だけの修理では済まない大修理工事に発展するケースもあります。

　排水管洗浄液を購入する場合も注意書きを熟読頂き、また塩酸系が入っている商品は決して控えてください。
※強い塩酸類は塩ビを溶かす恐れがあります。

排水管内を洗浄したい場合は、弊社等の水道専門業者に依頼頂くか重曹等を使用して頂いてぬるま湯で流してください。

→熱湯を流す場合は、排水口廻りだけの洗浄に必要な適量を流してヌメリ洗浄する程度にしてください。
　一気に流したい場合は、必ず熱湯のままは控えて頂き、蛇口の水を流しながらお湯を流すと温度が緩和して排水管への悪影響が少なくなります。
　また、排水口の網に氷を溜めてお湯を流すなど、お湯の温度が直接排水管へ伝わらないよう工夫が必要です。

排水に限らず、水は糸ほどの細さでも隙間があると流れ出します。

　シンク内や洗面化粧台の汚れが気になる方、洗い物のあとのお手入れとしまして、
①排水口以降に溜まった汚れを流しきる方法は、洗面器や調理ボウルに水を溜める、またはビニール袋で水風船を作り確実に排水口を封鎖します。
②シンクや洗面ボウルに溢れない程度に水を張り、一気に排水口の口を開放して水を勢いよく流し、水圧で排水管内の汚れを
かき落としながら流れてくれますので、毎回の洗い物時ではなくても1日1回をするだけで排水管の正常な状態維持や排水臭の予防になります。

弊社では、器具の修理やお取替えの際には取り扱い説明書を含め以後の水道事故を防ぐために、
きちんとご説明させて頂いた上で、工事終了ならびにお引渡しをさせて頂いています。
調査・ご相談は無料ですので少しでも気なられる方は是非ご相談お待ちしております。

中播住宅設備株式会社